

令和5年度 さいたま市立針ヶ谷小学校 第3回学校運営協議会議事録

場所	針ヶ谷小学校 新A棟2階 プラタナスの森
日時	令和6年1月27日(土) 午前9時20分～10時40分
出席者	針ヶ谷小学校 校長、教頭、教務主任、学校地域連携コーディネーター 学校運営協議会委員 5名出席 合計 9名出席
議事録	
1 開会の言葉	・お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。第3回学校運営協議会を始めます。
2 委員長あいさつ	・インフルエンザの流行もある中ではありますが、皆様ご健勝のこととお慶び申し上げます。よりよい学校と地域のために、忌憚のないご意見をいただきたいと思ひます。
3 第2回協議会の保留事項	・前回、針ヶ谷小コミュニティスクール成長プランの案を提案させていただいた。針ヶ谷小ふれあい子ども教室は文部科学大臣賞を受賞しているほど、既に地域に協力をいただいている地域である。このコミュニティスクール成長プランにおける「地域」とは、学校に関係するものとして共通理解を図りたい。プランには学校に関わる地域の団体を挙げさせていただいた。 ・PTAはボランティア制に移行し、多くの保護者の方に協力をいただいている。 ・今後はより一層、関連施設との連携を強化していきたい。 ・この会の構成員も補強を考えている。小中一貫教育の、より一層の連携に向けて大原中学校、針ヶ谷地区との関係強化に向けて、針ヶ谷保育園を考えている。
4 学校運営協議会による評価	・長く本市として推進してきた「心を潤す4つの言葉」に今年度より、本市の児童生徒の代表がさいたま市子ども会議にて決定した「心を元気にする言葉4つ」が追加された。これらの言葉を意識して生活できるように、全教室に掲示し、指導している。 ・昨年度からは、学習面では学びのポイント「じ・し・ゃ・く」を大切にして、本校教員が児童の学びについて学習を進めている。 ・保護者アンケートの回答率はどの程度であるか。 ・7割以上の家庭から回答をいただいた。 ・保護者による回答は、どのような方法を行ったのか。 ・保護者の方がスマートフォンを用いることを想定して、Formsを用いて回答していただいた。 ・問題行動の少ない、落ち着いた学校であり、学校経営方針は大きく変える必要はないと思う。 ・理解度の速い児童も含めた「個別最適な学び」とは、難しさを感じるが、どのように取り組んでいるのか。 ・発展教材の用意など、発展的な学びにも努めている。人員がいれば、少人数での学習も行える。現在は、スクールアシスタントが各教室に入って学習補助を行っている

るが十分とは言えない。他県他市では、学習ボランティアを継続的に活用している自治体もある。現在の状況では、個人情報に配慮する必要があり、継続的な学習ボランティアの扱いが難しい。

- ・学力向上に向けた教員の準備は大変であると考えられる。土曜チャレンジスクールなどの場で、この地域に住んでいる退職校長などの人材の活用が図ればよいと思う。
- ・入学前から子どもたちの個人差が大きいと感じている。平等の観念を超えた習熟度学級は、公立では難しい。
- ・クラウド上の児童の情報を教員が確認するということは、教員への負担が大きくなるのが心配される。
- ・AIが進んでくれば、クラウド上に入力されたデータをAIが処理してくれる。ぜひ、教員の負担を減らすためにも、AIの活用を市の教育委員会で考えていただきたい。
- ・学力向上については、課題別、習熟度別という意見があり、よりいっそう個別最適な学習を進めていき、ICTの利点を生かした学習を進めていく。
- ・先日、新学校図書館（プラタナスの森）が開館した。読書活動推進のためにも、最大限に活用していく。
- ・一人一台端末の台数は、現状ではどのようになっているか。
- ・修理に時間がかかり、その間、隣の学級との貸し借りなどで対応している。
- ・地域の代表として、年に1回は地域をまわり、通学路の安全確認をしている。枯れ木が通学路に重なることについて意見もあり、管理者へ要望を出した。地域としては校外の安全管理や見守りに引き続き努めていく。
- ・PTA、育成会の皆様により、登下校の見守りをしていただき有難い。能登半島地震があり、防災教育の必要性を改めて意識した。
- ・子どもたちの安心・安全については、いじめについても心配である。
- ・学校便りをいつも拝読している。引き渡し訓練を全学年で実施ということで、防災に対する取組を推進することは良いと思う。
- ・いじめ以外に不登校の状況も気になっている。地域としては、今後も解消に向けて関わっていきたい。
- ・こういった児童の安心・安全に向けた取組を推進するために、地域との諸会議を今後も有意義な場としていきたい。SSWやSC・さわやか相談員により、不登校児童等の支援を進めていく。
- ・本校でも避難訓練を先日実施した。リフレッシュ工事により、避難経路の変更が度々されている。いつ起こるか分からない災害に備えて、次年度も実践的な訓練を行っていく。
- ・地域の各施設との関わりを大切にするという取組は、ぜひ進めていただきたい。
- ・旧公務員住宅が売却となった際に、地域のために使うことができるように住民がアンケートを実施した。教育活動の充実のため、体育館の新設や校庭の拡充などの意見があがった。
- ・育成会としては今年度、七夕とふれあい祭りで学校と協力して事業を行うことができたので、引き続き取り組んでいく。

	<ul style="list-style-type: none"> ・六寿会だけでなく、他地域でも呼びかけていただければ、学校の環境整備に参加する方は多いと思う。 ・行事の意図や、その取組によって、子どもたちにどういった力をつけていきたいかということを学校では発信していく。 ・学校では、教職員がよく頑張ってくれており、その苦勞が資料からも読み取れる。 ・Z世代の若者の扱いが難しいと感じている。SNS やタイムパフォーマンス等を考えて行動する若者が多く、承認欲求も強い。若者をつぶすのではなく、生かす方法を社会としても考えていかねばいけない状況であるため、学校としても留意していただきたい。 ・様々な年代の教職員がいるため、今まで勤務してきた背景を大切にしながら、教職員の資質向上に努めていく。資質向上のためにも、引き続き業務改善に取り組んでいく。 ・教職員の勤務時間外労働は、給与に反映されない。熱意のある人が時間外に働き、組織を回していくことに頼ってはいけない。
<p>5 令和6年度学校経営グランドデザイン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前回、話題にあがった読書活動の推進と、学校の第一義的な目標である学力向上に今後も取り組んでいく。大きな変更点として、次年度は学校教育目標の変更を考えている。現在の学習指導要領の主旨や社会の変化も踏まえ、今の子どもたちにつけたい力を考え、設定し直した。本日、いただいた意見も次年度の学校経営グランドデザインに反映させていく。 ・現段階での案を承認する。
<p>6 閉会の言葉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本日は具体的な学校の取組の話や参会者のご意見を聞かせていただき、自分自身も大変勉強になりました。今後も学校や地域のためにご協力を宜しく願います。